



長岡技術科学大学

NUT30
 Nagasaki
 University of
 Technology
 30th Anniversary

長岡技術科学大学 同窓会報

<http://www.info-niigata.or.jp/~nut-doso/>

母校へフィードバックを

本学は、昨年度10月に節目の開学30周年をお祝いしましたが、開学当時の学生さんは、今や、いろいろな分野で陣頭指揮を執る年代を迎えています。小生は、赴任の昭和56年7月から、本年3月の定年まで26年間弱本学に勤めさせていただきましたが、特任教授としてまだお世話になっています。開学当時は、教員・職員のみならず、学生諸君も、「我々のための新しい大学」との意識が非常に強く、高い心意気で満ちて居たのが印象に残っています。学内も自由な雰囲気、最初に所属した分析計測センターでは、機械、電気、化学系の異なる専門領域の学生を受け持ちました。機械系の高専出身の学生さんがいとも簡単に工作センターで、装置架台を作製してきたのには、化学出身者の小生にとっては思いもつかないことで、大変感激したものです。

大学を取り巻く状況は、この数年間で大きく変わりました。特に平成15年度の大学の独立法人化後は、大学を運営する運営交付金は毎年1%ずつカット、大学活動費を増やしたければ外部資金を導入すべしということで、予算や学生確保で他大学との競争が激しくなっており、今まで以上に、研究と教育の質を上げ、存在価値を出すことが望まれています。

このような状況で、同窓会を通して卒業・修了生の方に、3件のお願いがあります。一つは、教育に関してです。本学は、“実践教育”を当初から掲げてきました。例えば、30年も前より「実務訓練」を取り入れてきました。これは、当時の一般大学では全くなし得なかった教育の一つであり、現在多くの大学がインターンシップ制度を取り入れていることを見ますと、本学の先見性を誇らずにはおれません。しかし、今後の発展を考える上で、数十年先を見据えた先見性に基づく新しい教育内容の構築が必要です。今後の少子化を考えると、個人個人の力量を高める人材育成、大学院生(特に博士学生)の養成が最重要課題であることは言うまでもありません。このためには、社会で活躍している卒業・修了生からのフィードバックは大変重要で、本学教育制度に対する注文を是非聞いてみたいものと思っています。実践教育にさらに追加すべき内容など忌憚のない意見を投げてほしいと思います。

 長岡技術科学大学
 物質材料系

特任教授 井上 泰宣



二つめは、本学出身者が相互に情報交換を行う場としての工学研究・技術ネットワークの構築をお願いするものです。まずは、長岡市近郊の会社に就職した方で、長岡ネットワークを構築し工学・技術に関する頭脳集団を形成し、その存在感を出していただければと思います。情報・意見交換においても、いわゆる“同じ釜の飯を食べた”仲間内では、非常にスムーズに進めることができます。良い意味での学閥恩恵でしょうか。むしろ、本学の教員からも強力なバックアップも期待できます。長岡市を皮切りに、ネットワークが新潟県、関東・中部・関西圏など広がっていけばこれに超したことはありません。

三つ目は展示資料に関してです。今年より、本学ではテクノミュージアムを開設いたしました。本学の歴史とともに、優れた研究・発明業績を展示する会館です。現在は本学の教職員などの成果が展示されていますが、ここに本学出身者の社会における活躍を紹介する場が設けられます。会社・研究機関などで、優れた業績を上げ、公の受賞(例えば、〇〇〇学会技術賞、◇◇◇大臣賞、△△△新聞企業賞など)対象となった場合や、マスコミなどで紹介された場合など展示で紹介したく、是非本学に報告していただけないでしょうか。企業などでは個人よりもチームとしての受賞になると思われませんが、その一員である場合でも結構です。このミュージアムには、民間企業、官庁機関、父兄や一般市民など多くの方が、見学されますので、大いなる宣伝が可能です。是非、業績資料をお寄せください。

いずれも、お願いばかりで恐縮ですが、本学を巣立った諸君から母校に対する働きかけは何であれ大変ありがたいものです。最後になりますが、健康に留意され、ますますご活躍されますことを祈念致します。



30 Anniversary

開学30周年記念行事

開学30周年記念 同窓会講演会

～VOSの精神で新時代のテクノロジーを 創造する 熱き技術者の挑戦～

同窓会では、開学30周年を記念し、昨年9月30日に第一線で活躍する同窓生を講師に招き、技術開発現場の裏側や一技術者としての生き方等についてお話していただく講演会を開催しました。学内外から200名以上の参加がありました。

山口秀樹さんの演題は「建設現場を経営する」。

昭和57年に建設系建設工学専攻を修了され、清水建設株式会社に入社。東南アジアの建設現場での勤務後は、一貫して国内の建設現場で施工を担当され、東京湾岸道路や中部国際空港といったビッグプロジェクトにも携わる。

その当時の模様を紹介し、日々新たな状況で緊張感を保って仕事ができ、新しい技術の検証の場でもある「建設現場」は最適な職場であったと話されました。

現在は、土木東京支店工事長。羽田空港の国際ターミナル地区で新駅建設のプロジェクトマネージャーとしてご活躍中です。

遠藤秀介さんの演題は「人生の実力」。

昭和58年に電気系電子機器工学専攻を修了。日立製作所株式会社に入社。液晶設計部に配属され、営業技術部員としてアメリカに赴任した後、平成13年日立ディスプレイズ第一設計部担当部長に就任。以後、大型FPD事業部設計部長、同事業部戦略室長を歴任される。

赤羽研での液晶との出会いから、夢に過ぎなかった壁掛け液晶TVを現実のものとして成功した裏には、単に運に恵まれたのではなく、熾烈な技術競走の中に身を置いたご自身に課した、緻密に計算された人生設計の遂行と勝利への努力によって成しえたものと話されました。

現在も、株式会社IPSアルファテクノロジー事業本部事業企画部長として、大型液晶テレビ等で使われる液晶パネルの事業戦略、事業計画立案を指揮されています。

(熊倉 清一)

昨年の9月30日に、本学の陸上競技場において同窓会主催のフットサルNGD杯2006が開催されました。この大会は、本学の開学30周年を記念し、同窓生と在学生との親睦を目的としたものです。大会には13チーム、124人(27人のOBを含む)と多数の参加者があり、またアルビレックスチアリーダーズのゲスト応援もあり、非常に盛り上がりました。

私自身も、学生時代のNGリーグを思い出し、OBと現役学生の混成チームを結成し参加しました。残念ながら、日ごろの運動不足がたたり予選落ちとなってしまいましたが、我々のチームから優秀選手賞(30歳以上)として同級生の後藤智明君が選ばれました。決勝戦ではフットサルクラブ主体の蹴猿隊が、フェイエノールグチ(電気系・野口研)を破り、見事優勝を飾りました。やはり現役学生の多いチームは強いですね。きっちり体を作って、是非第2回大会(2008?)にも参加したいと思います。なお、大会の様子を同窓会ホームページにアップロードしましたのでご覧ください。(関 安孝)

開学30周年記念 フットサルNGD杯 2006開催



● 長岡まつり大花火大会観覧のお誘い

来年の花火は土日に開催!

30周年に引き続き、2007年も同窓会にてバスピアス超大型スターメイン「ニューテクノパワー」を打ち上げました。これは、左右から噴射するX花火で始まり、金色の花火の連発を基本として、そのなかでUFO花火、連鎖して炸裂する花火をおりませでありました。最後のクライマックスは、大きく開く金色の尺玉の連発後に川まで細い光が束になって垂れ下がる柳花火で終わり、大変見事でした。

同窓会での花火打ち上げは、同窓生・在学生への良いアピールになるので、今後も行っていきたくと思っています。同窓会では打ち上げに伴って支給される有料観覧券を数十枚確保しています。年々、花火大会では河川敷の無料観覧席が減ってきており、無料席の確保は困難になってきています。有料観覧券を同窓生に皆様には無償提供いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ご観覧ください。

観覧券の申し込みについての詳細は7月にホームページ上で応募方法を発表しますのでご覧ください。なお、応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。



● 中越沖地震における学生ボランティアの活躍

2004年10月の中越地震から1年半が経過した2006年4月、本学に一つのボランティアサークルが誕生した。VOLT of NUTS (VOLunteer Team of NUT Students) である。被災地の高齢者も覚えやすいよう「ボルナツ」と言いかけたそのチームは、仮設住宅で足湯を行い(写真)、棚田・遊歩道の修復や田植え・花植えに汗を流し、お年寄りや自閉症の子供達に寄り添ってきた。7月16日午前10時16分中越沖地震発生。幸い今回は学生にも大学にも被害はなかった。だがすぐ隣町での甚大な被害に、矢も楯もたまらず15名が当日に現地入りした。「現地の迷惑になるのでは」、「いち早く生の現場の様子を全国の仲間に伝えなくては」、葛藤しながらできること、やるべきことを考え動いた。それから4週間、期末テストとの綱引きをしながら時間を見つけて現地支援に入った学生は延べ200人を越えた。単身高齢者の家のタンスを運び、他大学生と共に避難所で足湯をしながら、被災者の言葉を拾った。そんなボルナツの活動が新聞社の目にとまり「明日の君へ」という企画記事となった。(http://www.niigata-nippo.com/ashita/)。ご一読いただければ幸いです。



● 同窓会 支部の状況について

同窓会顧問(渉外担当) 宮下 孝洋

大学創立30周年記念を前後して、学内に同窓会支部設立の動きがありましたが、その後の動きは残念ながら止まっております。主たる原因は、担当である私の怠慢によるものですが、個人情報取り扱いの難しさに加えて本業繁忙な状況での対応は正直申し上げてかなり苦しいのが実情です。北海道、東北、関東、関西、中部、北陸、中国、四国そして九州というのが、当初の支部構想拠点であり、その幾つかのエリアについては代表者が選任されておりますが、具体的な活動はできずじまいです。

まずは技大のお膝元である新潟県内の技大卒業生の横の繋がりを強化して、そこから全国の支部に情報発信しながら、相互の連携を図るとというのが私の構想であり、その実現に向けて今後も努力致しますので、卒業生の皆様にお声掛けした際には御理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。また、支部結成に関するご意見ご要望等ございましたら、同窓会宛にご一報下さい。

● 平成 18 年度決算、19 年度予算報告

平成 18 年度事業報告

(自：平成 18 年 3 月 1 日～至：平成 19 年 2 月 28 日)

- 名簿データの管理、同窓会HPの運営・管理
- VOSの配布、同窓会報の発行
- 卒業祝賀会、学位記カバー、模擬国連サークルへの助成
- COE推進経費貸与
- 開学30周年記念講演会の開催、フットサル大会の主催

平成 18 年度 一般会計 収支報告

(自：平成 18 年 3 月 1 日～至：平成 19 年 2 月 28 日)

【収入】		【支出】			
科目	金額 (円)	科目	金額 (円)	内訳	
				項目	金額 (円)
入会金	5,940,000	事業費	7,691,571	通信運搬費	504,230
積立金取り崩	7,782,261			広報費	1,159,354
雑収入	203,728			助成・貸与	3,273,160
COE推進費返還金	1,692,000			開学30周年記念事業	2,735,767
前期繰越金	14,200,442			入会、名簿代返金	19,060
合計	29,818,431	事務費	528,278	O A 機器	119,510
				消耗品	4,923
				会議費	63,640
				雑費	340,205
		新規積立	2,000,000		
		次期繰越金	19,598,582		
		合計	29,818,431		

平成 19 年度事業計画

(自：平成 19 年 3 月 1 日～至：平成 20 年 2 月 29 日)

- 名簿データの管理、同窓会HPの運営・管理
- VOSの配布、同窓会報の発行
- 卒業祝賀会、学位記カバー、技大祭などへの助成
- 長岡まつり大花火大会花火打ち上げ
- 技大祭にてトークショー開催

平成 19 年度 一般会計 収支(案)

(自：平成 19 年 3 月 1 日～至：平成 20 年 2 月 29 日)

【収入】		【支出】			
科目	金額 (円)	科目	金額 (円)	内訳	
				項目	金額 (円)
入会金	6,000,000	事業費	3,600,000	通信・運搬費	600,000
積立金取り崩し	0			広報費	1,500,000
雑収入	200,000			助成・貸与	1,500,000
COE推進経費返還	600,000	事務費	500,000	O A 機器	150,000
前期繰越金	19,958,582			消耗品	50,000
合計	26,398,582			会議費	50,000
				雑費	250,000
		新規積立	18,000,000		
		予備費	1,000,000		
		次期繰越金	3,298,582		
		合計	26,398,582		



同窓会報愛称募集

昨年度より募集行っていますが、応募総数が少ないため、引き続き同窓会会員の皆様より同窓会報の愛称を募集いたします。下記要領により奮ってご応募ください。同窓会理事会で選考の上、愛称 1 点を決定し、同窓会ホームページで皆様にお知らせいたします。なお、採用されました愛称の応募者には記念品(図書券 1 万円分)を贈らせていただきます。

1. 募集期間 平成 19 年 9 月 25 日～ 11 月 30 日

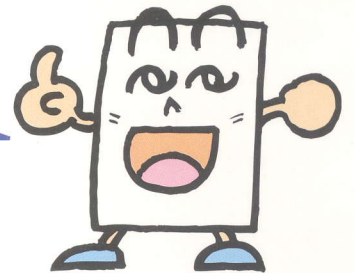
2. 応募方法 電子メールまたはハガキでご応募ください。

- ・ 電子メールによる応募先 dosokai@vos.nagaokaut.ac.jp (メール題目を「会報愛称募集」にしてください。)
- ・ ハガキによる応募先 〒 940-2188 長岡技術科学大学 同窓会 会報愛称募集係

3. 必要事項

- ・ おところ / ・ お名前 / ・ 電話番号 / ・ 卒業課程 or 修了専攻 / ・ 卒業 or 修了年月 / ・ 現職 / ・ 愛称: 10 文字以下で
- なお、応募いただきました個人情報、長岡技術科学大学 同窓会で管理し、会報愛称募集の目的のみに使用いたします。

すてきな
愛称つけて
ください。



編集

会員に同窓会活動の内容が周知されるように努力したいと思います。お互い、声を出していきましょう! (S)
再び中越に大きな地震がきました。常に防災意識を持って生活しましょう。(E)

後記

今度、高校生講座を担当することになりました。将来の技大生となってもらえるよう(?)がんばりたいと思います。(Y)
同窓会の花火は在学生にも大ウケでした。やっぱり宴会しながらの花火鑑賞はいいですね。皆様もぜひお越しください。(I)



同窓会連絡先

長岡技術科学大学同窓会

〒 940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
電話 0258-46-6000
e-mail dosokai@vos.nagaokaut.ac.jp

住所、勤務先、帰省先などに変更がございましたら、下記までご連絡ください。

1. ホームページ : <http://www.info-niigata.or.jp/~nut-doso/>
2. ファックス・電話 : 0258-46-6000
3. 郵 送 : 〒 940-2188 長岡技術科学大学 同窓会 (個別郵便番号だけで届きます)

